

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-01		戦略プラン	☐ 協働	☒ 業務	☐ 財務	☐ 人事
事務事業名	観光情報提供事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	渡部	
			担当者名	増山・仁平・大久保	内線	462	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-01-01	観光情報提供事業					
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 7年度 ☐ 6年度） ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業						
開始年度	平成 14	（ 2002 ）	年度	根拠			
終期設定	☒ 有 ☐ 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等		
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準			計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信				
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。						
対象者等	区外の人々及び区への来訪者						
内容	①まちあるきマップ作成【南千住】【日暮里】【都電荒川線・日暮里舎人ライナー沿線】【日暮里谷中散策】【千住散策】 ②観光パンフレット作成（おいでよ！あらかわ、ことりっぷ日暮里等） ③外国人向け区内PR動画インターネット配信（R4～） ④Instagram運用（R6～） ⑤観光アプリ運用（R1～R6） ⑥デジタルスタンプラリー ⑦観光情報PR協力所設置76か所（R7. 4. 1現在） ⑧京成日暮里駅構内PRコーナー運営（H24～） ⑨南千住駅構内PRコーナー運営（H26～） ⑩日暮里駅前イベント広場電光掲示板運営（H25～R5）						
経過	○平成22年度、観光ボランティアガイド事業を受入体制整備事業へ移管 ○区内行事のインターネット動画配信 都電荒川線のバラ、仲町通り阿波踊り大会、熊野前サンバカーニバル等 ○平成14年度に開設した都電荒川線花見どころサイトは、産業ホームページの廃止に伴い、平成27年度に区ホームページへ統合 ○平成24年度に開始したXは、平成28年4月1日をもって広報課アカウントと統合 ○令和元年度に開始した観光アプリ「あらかわさんぽ」は、令和6年9月31日をもってサービス提供を終了 ○令和6年度にInstagramアカウントを開設し、運用を開始						
必要性	多様な情報発信により、区のイメージアップ及び来訪者の増加が期待できる。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ）						
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み	
	① 区観光ホームページアクセス数	-	129,180	140,383	150,000	160,000	
	②						
③							
事務事業の分類			分類についての説明・意見等				
7年度	8年度						
重点的に推進	重点的に推進	区のイメージアップと区外からの誘客を図るため、区内外に向け、趣向を凝らした情報発信により、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		12,140	5,181	10,749	6,565	6,355	4,092	12,883
決算額（7年度は見込み）		10,673	3,263	9,657	5,134	3,697	3,490	12,883
実績 の 推 移	事項名（7年度は見込み）	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	イベントカレンダー	30,000	—	25,000	20,000	15,000	—	—
	まちあるきマップ（区単独）	122,000	—	64,000	24,000	28,000	—	48,500
	まちあるきマップ（他区連携）	—	48,000	—	22,500	—	92,500	—
	観光PR協力所設置件数	81	77	77	76	75	76	85

予算・決算の内訳

令和5年度（決算）			令和6年度（決算）			令和7年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	観光PRチラシ作成費ほか	865	需用費	観光マップ作成費ほか	2,033	需用費	マップ増刷ほか	2,129
委託料	観光アプリ運用保守ほか	1,836	委託料	観光アプリ運用保守ほか	1,234	役務費	デジタルスタンプラリーシステム利用料	191
使用料	イラストレーター利用料	53	役務費	デジタルスタンプラリーシステム利用料	163	委託料	観光ガイド作成委託ほか	10,490
工事請負費	日暮里駅前広場電子掲示板撤去	943	使用料	イラストレーター利用料	61	使用料	イラストレーター利用料	73

(単位：千円)

					(単位: 千円)					
行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	4,538	2,962	▲ 1,576	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	2,754	3,490	736		国庫支出金	0	81	81
		維持補修費	0	0	0		都支出金	240	243	3
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	240	324	84
		賞与・退職給与引当金繰入額	960	205	▲ 755		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 8,955	▲ 6,333	2,622
		その他行政費用	943	0	▲ 943		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	9,195	6,657	▲ 2,538	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 8,955	▲ 6,333	2,622		
	特別費用(g)	1,823	0	▲ 1,823	特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 1,823	0	1,823	当期収支差額(e)+(h)	▲ 10,778	▲ 6,333	4,445		

供

行政費用は給与関係費を除くと物件費が主で、内訳は、散策マップの印刷等である。行政収入の主なものは、散策マップの印刷にかかる都の区市町村観光インフラ整備支援補助金である。

問題点・課題

①今後増加する外国人観光客へ向けた情報発信を積極的に行う必要がある。特に、旅行計画時における荒川区の認知度を高める施策が必要である。

②区の魅力を発掘し、区への来訪を促す新たな観光コンテンツを作り出す必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続き、荒川区内の情報を扱うメディアや、観光情報を扱うメディアの発掘・連携を深める。	ネットメディア・地域情報紙・関連事業者（鉄道関連など）と連携して、情報の拡散に努めた。	引き続き、これまでの連携先への情報提供を行うとともに、新たな連携先の発掘に努める。
②	引き続き、外国人観光客向けの区内観光PR動画の製作を行い、動画配信サイトやSNS等の他新たな情報発信を図る。	外国人観光客向けの観光PR動画製作・配信を引き続き行うとともに、新たにInstagramでの情報発信を開始した。	Instagramの運用方針を定め、効果的な情報発信を行っていく。
③	新たなテーマのもと、デジタルスタンプラリーを実施し、新たな魅力づくりを進める。	スタンプラリー専用アプリを利用し、鉄道スポットをテーマに実施したことで、昨年度より参加者が大幅に増加した。	来年度も新たなテーマのもとでデジタルスタンプラリーを実施し、新たな魅力の発掘に努める。

他国の写
施状況

(实施	22	区	未实施	0	区	不明	0	区)
------	----	---	-----	---	---	----	---	----

況（要旨）

平成24年1定 日暮里駅周辺において、地元と協力して情報発信を進めるべき。
平成28年度決特 海外の有名なブロガーを活用した情報発信を行ってはどうか。
令和6年度11月会議 アニメのキャラクターを活用した情報発信について
令和6年度11月会議 SNSを活用した情報発信について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-02		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事			
事務事業名	荒川区観光大使PR事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部		
			担当者名	大久保	内線 3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-01-02	荒川区観光大使PR事業					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 7年度 ○ 6年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	平成 18（2006）年度	根拠法令等	荒川区観光大使設置要綱				
終期設定	● 有 ○ 無 令和 11（2029）年度						
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画 ● 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ 産業革新都市					
	政策	06 人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02 受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	「荒川区観光大使」によるPR活動で、区のイメージアップを図る。						
対象者等	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人 区民、区外の人々及び来訪者						
内容	（観光大使） 城戸真亜子（洋画家）、三遊亭好楽（落語家）、井崎脩五郎（競馬評論家・タレント）、片岡鶴太郎（俳優・画家）の4名 ① 区の最新情報（旬な話題、観光イベント情報、観光パンフレット等）を随時提供。 ② 観光大使PR物品を作成し、それぞれの立場において機会のあるごとに荒川区をPRしてもらう（名刺、都電荒川線ポストカード等） ③ 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。						
経過	平成19年度 観光大使が区の魅力を紹介する「私の大好きなまち」作成（23年度改訂） 平成21年度 区長との意見交換会を実施（城戸氏、好楽氏、井崎氏が出席） 平成22年度 区長との意見交換会を実施（好楽氏、井崎氏が出席） 平成28年度 観光大使名刺提示による特典の拡大（区施設（あらかわ遊園、荒川ふるさと文化館）の利用料無償化）						
必要性	著名人の幅広い人脈を活かし、区の知名度とイメージの向上を効果的に図ることができる。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ● 常勤職員 ○ 会計年度任用職員）						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値（8年度）	
	① 観光大使への情報提供回数	10	10	12	12	12	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
継続	継続	観光大使のPR力を活用し、区の魅力を発信するため、継続して実施する。					

(単位：千円)

問題点・課題

観光大使に荒川区の魅力をPRしてもらうために、区の最新動向等を、定期的に、きめ細かく情報提供していく必要がある。

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
--	------------------------	-------------------------	--------------------------

②

況 議 会 （ 要 質 問 件 旨）	平成29年度予特	一般公募の大使等、他自治体の実状も含めて研究してみてもどうか
	令和4年度予特	観光大使の増員について
	令和5年度予特	観光大使の活動状況について
	令和6年度11月会議	SNS等を含めた発信力強化のための増員や見直しについて
	令和6年度11月会議	観光大使の活動状況について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-03		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事				
事務事業名	産業観光推進事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部			
			担当者名	加茂	内線 3563			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-02-01	産業観光推進事業						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 7年度 ○ 6年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業							
開始年度	平成 14（ 2002 ）年度	根拠	荒川区モノづくり見学・体験スポット整備支援事業要綱					
終期設定	○ 有 ● 無（ ）年度	法令等						
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術、区内で製造・販売されている優れた商品を紹介するとともに、区民等のモノづくり見学・体験スポットの利用を通じて、モノづくりのまちあらかわの周知と産業観光を推進する。							
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者							
内容	【モノづくり見学・体験スポット整備支援事業】 工房等を一般公開する者をスポット（以下「モノスポ」）として認定し、必要に応じて改修等の費用を補助。2/3補助（上限100万円）（累計45件、内訳：活動中32件、廃止13件）。 【モノフェスinにつぼり】 モノづくり見学・体験スポット事業者と日暮里繊維街が出店するモノづくり体験イベント。 【匠の技展in日暮里～Nippori Craft Festival～】 インバウンド（訪日外国人）をメインターゲットとした、伝統技術・日本伝統文化の物販・体験イベント。 【その他】 ・荒川ブランド（伝統工芸や荒川マイスター等の製品を紹介する冊子）の作成・配布 ・あらかわの伝統技術展等に観光PRブースの設置							
経過	平成19年度 モノづくり見学・体験スポット整備支援事業開始 平成20年度 ①都電ウオークラリーを分離し、単独事業化 ②荒川ブランドセールスプロモーション事業を統合 ③伝統技術展を経営支援課へ移管 平成23年度 「駅からハイキング関連事業補助」を観光イベント助成へ組み替え 【「荒川ブランド」紹介冊子の内容】 ①「荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1」平成17年度発行 ②「伝統工芸品・荒川マイスター製品編」平成18・20・22・25・28・令和2・6年度改訂 （伝統工芸品31商品/42名＋荒川マイスター製品19商品/19名＋リストのみ7名＝計50商品/68名） ※同一屋号は連名にて掲載するため、製品数と人数が異なる							
必要性	モノづくりのまちあらかわの地域資源を活かし産業観光を推進することで、地域産業の活性化を促進する必要がある。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○ 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ）							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	産業観光イベント来場者満足度(%)	-	85	93	95	95	満足度5段階中4以上と回答した人の割合（小数点以下四捨五入）
	②							
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
7年度		8年度						
推進	推進		モノづくりのまちあらかわを区内外に向け広く周知するため、モノづくり見学・体験スポットの拡大とPRの充実を図る取組を推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		8,049	10,309	12,394	5,428	6,975	9,859	10,008
決算額（7年度は見込み）		4,282	1,741	9,941	2,754	5,732	8,560	10,008
実績 の 推移	事項名（7年度は見込み）	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	産業観光イベント来場者満足度	-	-	-	-	85.9	93.8	95
	商品紹介冊子作成（部）	-	20,000	-	-	10,000	15,000	20,000
	モノづくり見学・体験スポット（活動中）	33	32	34	34	31	32	34

予算・決算の内訳

令和5年度（決算）			令和6年度（決算）			令和7年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	イベント報償費	56	報償費	イベント・モノスポ審査会報償費	62	報償費	イベント・モノスポ審査会報償費	122
旅費	他自治体へのイベント出展	210	旅費	他自治体へのイベント出展	166	旅費	他自治体へのイベント出展	161
需用費	イベント消耗品ほか	15	需用費	イベント消耗品ほか	20	需用費	イベント消耗品ほか	30
役務費	イベント運送費ほか	100	委託料	会場設営費ほか	7,965	委託料	会場設営費ほか	8,695
委託料	会場設営費ほか	4,213	使用料等	決済端末使用料	53	負担金補助等	モノスポ整備補助金	1,000
使用料等	会場使用料	440	負担金補助等	モノスポ整備補助金	295			
負担金補助等	モノスポ整備補助金	698						

(単位：千円)

勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額		
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	4,916	5,431	515	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	4,962	8,203	3,241		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		都支出金	675	2,821	2,146
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	769	357	▲ 412		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	675	2,821	2,146
		賞与・退職給与引当金繰入額	1,040	376	▲ 664		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11,012	▲ 11,546	▲ 534
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	11,687	14,367	2,680		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 11,012	▲ 11,546	▲ 534
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 11,012	▲ 11,546	▲ 534			

備

る。物件費の増は、新規事業（にっぽりトレインフェス及びにっぽり推し活応援フェス）にかかる委託料が主な要因である。6年度の都支出金の増は、上記新規事業にかかる単年度補助が要因である。

問題点・課題

- ・区内外に「モノづくりのまちあらかわ」をPRするため、既存事業の広報について検討する必要がある。
- ・既存の「モノフェス in にっぽり」やインバウンド向け新規イベント等、事業内容毎にターゲット層を集客できる会場を検討する必要がある。
- ・外国人観光客を受け入れることができる体制及び外国人観光客がイベントに来客した際の体制を整える必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	新規にインバウンド向けイベントを実施する。	新規にインバウンド向けイベント「匠の技展in日暮里」を実施した。	引き続き、インバウンド向けのイベントを実施し、「モノづくりのまちあらかわ」の魅力を国内外に発信する。
②	新規に実施するイベントの効果検証を行い、より効果の高いPRができるよう検討する。	イベント実施時に、来場者アンケートを実施し、次年度の企画案の参考となる意見を聴取できた。	来場者アンケートをもとに、より効果的な事業PRについて、事業委託先と連携し、検討していく。
③	引き続き、モノづくり見学・体験スポットの新規開拓に努める。	部内各課と連携し新規モノづくり見学・体験スポット事業者を認定することができた。	引き続き、モノづくり見学・体験スポットの新規開拓に努める。

他区の寒
施状況

議 決	平成17年2定 産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき
-----	--------------------------------

議會
(要旨)
質問
状

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-04		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事			
事務事業名	観光イベント支援事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部		
			担当者名	増山・鈴木・野村	内線 462		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-03-01	川の手荒川まつり事業					
	01-03-02	観光イベント助成費					
	01-03-03	隅田川花火大会事業費					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 7年度 ○ 6年度）		○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 62（ 1987 ）	年度	根拠	川の手荒川まつり実行委員会実施事業補助金交付要綱、荒川区観光振興事業補助金交付要綱			
終期設定	● 有 ○ 無	令和 11（ 2029 ）	年度	法令等			
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	区民等の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。						
対象者等	区民主体の民間団体 区民、区外の人々及び来訪者						
内容	1 川の手荒川まつり実行委員会補助 ・ 4年度（中止）149千円 ・ 令和5年度20,189千円 ・ 令和6年度24,942千円 ・ 令和7年度28,662千円 2 観光振興事業補助等 ・ 令和4年度 1件 50千円（観光振興事業50千円） ・ 令和5年度 7件 805千円（観光イベント支援600千円、観光振興事業150千円、交通事業者関連事業55千円） ・ 令和6年度 5件 1,384千円（観光イベント支援300千円、観光振興事業88千円、交通事業者関連事業19千円、駅前イベント広場活用補助金977千円） 3 隅田川花火大会実行委員会への負担金 ・ 令和4年度0円（中止） ・ 令和5年度4,682千円 ・ 令和6年度5,413千円						
経過	○川の手荒川まつり 毎年4月29日（祝）に実施。平成17年度の実行委員会において開催場所を南千住野球場、東尾久運動場、荒川遊園運動場、汐入公園で順に開催することとしたが、交通アクセスや各会場固有の課題が生じ、令和4年度の実行委員会において、当面の間、南千住野球場で開催することとした。 ○シダレザクラ祭り補助金 平成23年度に公園緑地課（現在の土木管理課）に移管 ○駅からハイキング関連事業補助 平成23年度に産業観光推進事業から組み替え ○隅田川花火大会 平成24年のスカイツリー開業を契機に観覧者が増加し、実行委員会や東京都からの要請もあり25年度から実行委員会に参加						
必要性	区民・地域団体等が実施するイベントを支援することで、より多くの集客の機会を創出することが期待できる。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○ 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ）						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 観光イベント助成件数	1	7	5	5	13	日暮里駅前広場活用イベント補助を含む
	② 川の手荒川まつり来場者満足度(%)	-	93.7	93.5	91.3	95.0	コロナ禍で、4年度は中止
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
推進	推進	区民・事業者の自主的活動は、観光振興による地域の活性化を図る上で欠かせないものであることから、今後も関係団体等に対する支援を推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		25,106	28,279	17,534	33,617	35,684	38,746	42,424
決算額（7年度は見込み）		23,469	3,328	3,881	198	29,109	32,550	42,424
実績 の 推 移	事項名（7年度は見込み）	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	シタレザクラ祭り参加者（人）	15,000	0	0	0	16,000	1,500	16,000
	事業補助金（日暮里イベント含む）	5	3	2	1	7	5	7
	川の手荒川まつり来場者（人）	38,000	0	0	0	40,000	39,000	41,000
	川の手荒川まつり参加団体	129	0	39	0	81	93	93

予算・決算の内訳

令和5年度（決算）			令和6年度（決算）			令和7年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	臨時職員報酬（川の手荒川まつり）	339	報酬	会計年度職員報酬（川の手、隅田川花火）	379	報酬	会計年度職員報酬（川の手）	669
職員手当等	時間外手当（川の手荒川まつり、隅田川花火大会）	854	職員手当等	時間外手当（川の手、隅田川花火）	611	職員手当等	時間外手当（川の手、隅田川花火）	736
旅費	臨時職員通勤費（川の手荒川まつり）	5	旅費	会計年度職員通勤費（川の手）	5	旅費	会計年度職員通勤費（川の手）	30
需用費	隅田川花火大会用消耗品	89	需用費	隅田川花火大会用消耗品	99	需用費	隅田川花火大会用消耗品	110
委託料	隅田川花火大会テント等設置費ほか	2,146	委託料	隅田川花火大会テント等設置費ほか	2,026	委託料	隅田川花火大会テント等設置費ほか	3,000
負担金補助等	隅田川花火大会分担金・観光振興補助金ほか	5,487	負担金補助等	隅田川花火大会分担金・観光振興補助金ほか	6,797	負担金補助等	隅田川花火大会分担金・観光振興補助金ほか	9,217
負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	20,189	負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	22,633	負担金補助等	川の手荒川まつり補助金	28,662

(単位：千円)												
行政コスト計算書	勘定科目			5年度	6年度	差額	勘定科目			5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	14,050	16,297	2,247	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	2,240	2,130	▲ 110		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	25,675	29,430	3,755		使用料及び手数料	0	0	0		
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	0	0	0		
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,719	1,060	▲ 1,659		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 44,684	▲ 48,917	▲ 4,233		
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)	44,684	48,917	4,233	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 44,684	▲ 48,917	▲ 4,233					
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0					
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 44,684	▲ 48,917	▲ 4,233					

備考	行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主であり、内訳は、川の手荒川まつり補助金や隅田川花火大会補助金等である。補助費については、人件費等の高騰により、前年度を上回る額となっている。
----	--

問題点	①川の手荒川まつりについては、来場者に楽しんでいただける開催内容を充実していく必要がある。 ②隅田川花火大会については、区内の観覧場所となる汐入地域において、関係機関と調整し、万全な安全対策を講じる必要がある。
-----	---

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続き、来場者アンケートを実施し、来場者の満足度を確認し、開催内容の充実を図る。	スマートフォンによる来場者へのアンケートを実施し、川の手荒川まつりに対する満足度が高いことが確認できた。	今後も来場者アンケートを継続実施し、来場者の満足度を測り、次年度の開催内容を検討する。
②	観覧客の安全を確保するため、警察署等関係機関と課題を共有し、安全対策を実施する。	川の手荒川まつり及び隅田川花火大会において、警察署等の関係機関と課題を共有し、安全対策を実施した。	引き続き警察署等関係機関と課題を共有し、安全対策を実施する。
③			

其他	(实施	0	区	未实施	22	区	不明	0	区)
----	-----	---	---	-----	----	---	----	---	----

地区の実
施状況

議 会 質 問 答 （ 要 旨 ）	平成14年3定	都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について
	平成16年1定	沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について
	平成17年2定	日暮里・舎人線の開通に合わせて、イベントを開催してはどうか。
	平成27年度決特	人が集まる隅田川花火大会を観光振興や商業振興に活用すべきと考えるが区の見解は。
	平成27年度予特	観光資源としての富士見坂の活用について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-05		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事			
事務事業名	観光振興懇談会運営費		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部		
			担当者名	大久保	内線 3563		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-04-01	観光振興懇談会運営費					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 7年度 ○ 6年度）		○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	平成 18（2006）年度	根拠	荒川区観光振興懇談会設置要綱				
終期設定	● 有 ○ 無 令和 11（2029）年度	法令等					
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ 産業革新都市					
	政策	06 人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02 受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会を開催し、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討を行う。懇談会の提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。						
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等						
内容	【平成19～22年度】18年度の調査報告書、懇談会提言に基づく区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証 【平成27年度】2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えてさらなる誘客を図るため、新たな観光振興懇談会報告書を作成。 【平成28～令和元年度】実施事業の報告に加え、今後の観光施策の課題（28年度）、今後の荒川区の観光施策（太田道灌）（29年度）、区内観光関連事業者等からのヒアリング（30年度）、日暮里織維街でのフィールドワーク（元年度）を実施。【令和2年度】「コロナ禍における観光振興」をテーマに意見交換 【令和3年度】「デジタル技術を活用した荒川区の観光振興の充実に向けて（提言）」の作成。【令和4年度】シェアリングエコノミー導入に向けての講演会【令和5年度】日暮里織維街フィールドワーク及び意見交換【令和6年度】日暮里駅前イベント広場の活用に向けた意見交換						
経過	【平成18年度】様々な分野の有識者で構成する観光振興懇談会を5回開催し、観光振興の目指すべき方向性と具体的施策について検討し、提言を報告書としてまとめた。 【平成19年度から平成22年度】18年度の調査報告書と懇談会報告書の提言に基づき、区の観光施策の実施状況やその他の社会情勢変化に伴う見直し等の検討・検証（19年2回、20年3回、21年1回、22年1回）【平成24年度】観光事業コンサルタントによる講演会、意見交換である研究会を1回実施 ※平成23年度、25年度、26年度は未実施 【平成27年度】観光振興懇談会を3回開催し、座長から区長への荒川区観光振興懇談会報告書手交実施 本報告書により、地域経済・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚や来訪者との交流による地域活性化を図り「人が集う魅力あるまちの形成」を目指すことを確認 【平成28年度～令和6年度】各年度、荒川区観光振興懇談会を1～2回実施						
必要性	専門家からの提言・助言を活かし、より効果的な区の観光振興施策を推進していくことが期待出来る。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ● 常勤職員 ○ 会計年度任用職員）						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 懇談会の開催(回)	1	1	1	1	2	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
継続	継続	有識者や関係団体の意見を踏まえ、より具体的かつ効果的な施策に反映するため、継続して実施する。					

(単位：千円)

行政費用では、給与関係費を除くと補助費等が主であり、内訳は、観光振興懇談会委員への報償費である。
--

備考

問	日暮里繊維街等の既存の観光資源のポテンシャルを引き出すだけでなく、埋もれている観光資源の発掘とその効果的な発信を進めるべく、引き続き連携して事業を行っていく必要がある。
---	--

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	観光における課題への対応について、引き続き連携して取り組んでいく。	日暮里駅前イベント広場の活用に向けた意見交換を行い、様々な助言等をいただいた。	助言等を踏まえた対応を進めるとともに、諸問題への対応に連携して取り組む。
②			
③			
他区の状況	(実施 0 区	未実施 22 区	不明 0 区)
議会質問状(要旨)	平成29年度11月会議 荒川区観光協会の設立に向けて、区内各団体同士の協議の場を設定し、設立に向けて働きかけるべきと考えて欲しい。 平成26年度予特 2020年の東京オリンピックまでに、観光客誘客のための戦略を示して欲しい。		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-06		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事				
事務事業名	都電荒川線活用事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部			
			担当者名	鈴木	内線 462			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-02-02	都電荒川線活用事業						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 7年度 ○ 6年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業							
開始年度	平成 19（ 2007 ）年度	根拠						
終期設定	○ 有 ● 無（ ）年度	法令等						
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	区の観光資源である都電荒川線を活用し、区外からの観光客を呼び込む。区内商店街や都電沿線区（北区、豊島区、新宿区）、東京都（交通局）と連携したイベント等の実施や、特別号の運行により、一層の知名度とイメージアップを図る。							
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者							
内容	【都電荒川線沿線4区地域活性化協議会事業】（平成24年度協議会設立） ・都電荒川線沿線絵画コンテスト（平成23、24年度） ・都電荒川線沿線クイズラリー（平成25年度～令和元年度はスタンプラリー） 令和4年度実績：9月30日（金）～11月11日（日）に実施、商品応募数1,724人 令和5年度実績：10月1日（日）～10月31日（火）に実施、商品応募数2,204人 令和6年度実績：8月1日（木）～9月1日（日）に実施、商品応募数1,392人 【都電特別号の運行】平成24年～ バラ号（5月）、ハロウィン号（10月）、さくら号（3～4月）、おもいで号（平成26年10月） 【ラッピング都電の運行】平成27年度：俳句のまちPRラッピング都電（11月～）※令和4年度に廃止 【都電DE俳句】令和2・3年度：中止、令和4年度：11月30日・57名参加、令和5年度：11月29日・13名参加（※2名欠席）、令和6年度：11月29日・11名参加（3名欠席・1名体調不良で途中帰宅）							
経過	平成19年度 「都電荒川線ウォークラリー」 ・都電荒川線をPRするとともに、沿線の魅力を多くの人に伝えるため、北区との共催により実施 平成23年度 「都電荒川線100周年記念事業」 ・荒川区主催事業：都電100周年荒川区観光ツアー、都電100周年企画展（ふるさと文化館）など ・記念事業実行委員会主催事業（荒川区、北区、豊島区、新宿区及び都交通局）：都電サミット、都電荒川線沿線絵画コンテスト、花電車の運行、特設HP開設 平成25年度：都電荒川線沿線4区地域活性化協議会による「都電荒川線スタンプラリー」を実施 平成27年度：都電1台に俳句のまちPRラッピングを実施、ラッピング都電を活用した俳句講座を実施 平成28年度～30年度：あらかわ遊園水辺フェスタで、都電を活用したイベント（マジックショー）を実施 平成30年度：俳句のまちPRラッピングのデザイン更新							
必要性	区の観光資源である都電荒川線を活用したイベント開催や話題づくりにより、区のイメージアップやPRにとどまらず、商店街をはじめとした地域の活性化に繋がることが期待できる。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 ● 常勤職員 ○ 会計年度任用職員 ）							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値（8年度）
	①	都電荒川線沿線クイズラリー参加者数（人）	1,724	2,204	1,392	1,500	1,800	賞品応募者数（3年度は中止）
	②							
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
7年度		8年度						
継続		継続	東京都交通局と沿線3区等と連携し、荒川区をはじめ都電荒川線沿線地域全体の活性化を図る事業であるため、継続して実施する。					

(単位：千円)

備考	行政費用では、給与関係費及び賞与・退職給与引当金繰入額を除くと、クイズラリーの景品や都電装飾用のポスター印刷等の物件費である。
----	---

問題点・課題

①都電沿線地域の活性化のため、イベントでの都電活用に加え、東京都交通局と沿線3区との連携を強化し、各駅の観光スポットや沿線情報を掲示して、都電沿線の魅力を発信していく必要がある。

②都電と俳句・バラ・あらかわ遊園等の沿線の魅力を関連付け、「都電の走るまちあらかわ」を掲げるなど、関係機関とも連携して、効果的に情報発信する必要がある。

③都電に特化したイベントの実施やガイドブックの作成等、更なる魅力発信に努める必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続き、東京都交通局と都電荒川線沿線3区と連携し、取組を継続する。	都電荒川線沿線4区地域活性化協議会主催の都電沿線クイズラリーを実施し、参加者へ区の観光スポット等をPRした。	従来の事業を継続するとともに、交通局と沿線4区の連携を強化し、取組を充実させていく。
②			
③			
他区の 実施状況	（実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区） ・都電荒川線沿線4区地域活性化協議会に参加（新宿区、豊島区、北区）		
議会 （要旨） 質問状	平成18年4定 都電を活用し、荒川区の観光振興を図るべきである。 平成24年3定 都電を活用した地域や交通局、沿線4区との連携等。 平成26年度予特 あらかわ遊園を活用して商店街振興に貢献するような取組みは検討しているか。 平成27年度予特 あらかわ遊園と都電を活用したイベントで地域ににぎわいが期待できるが区の認識は。 平成27年度予特 あらかわ遊園と都電は区の観光資源であるが、それらをどのように活用しているか。		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-07		戦略プラン	☒ 協働 ☐ 業務 ☐ 財務 ☐ 人事				
事務事業名	受入体制整備事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部			
			担当者名	鈴木・野村・加茂	内線 462			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-02-03	受入体制整備事業						
事務事業の種類	☐ 新規事業 （ ☐ 7年度 ☐ 6年度 ） ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業							
開始年度	平成 17	（ 2005 ）	年度	根拠	荒川区外国人来訪者受入体制整備支援事業補助			
終期設定	☐ 有 ☒ 無	（ ）	年度	法令等	金交付要綱等			
実施基準	☐ 法令基準内 ☒ 都基準内 ☐ 区独自基準			計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	02	受入体制の充実と観光情報の発信					
目的	観光案内所等を拠点とし、区の魅力を広く情報発信するとともに、来訪者の受入体制を整備するなどおもてなしの向上を図ることで、区の魅力を高め誘客を促進する。							
対象者等	区民及び区外からの来訪者、区内の宿泊施設及び飲食店							
内容	【観光案内所の運営】日暮里観光案内所における観光情報の発信 開設日：年末年始を除く毎日 10時～16時 R5年度12月 日暮里観光案内所のブースを改修 2名体制での営業が可能となった 【観光案内標識設置事業】東京都観光案内標識設置補助金交付要綱に基づく補助事業 H17年度 日暮里地区4基設置 H18年度 南千住地区5基設置 H19年度 都電川線沿線5基設置 H20年度 汐入地区5基設置 H22年度 三ノ輪停留場標識を都から移管 H29年度 20基盤面改訂 【外国人来訪者受入体制整備事業】外国人受入環境整備に対する補助事業、外国人向けイベントの実施や、区内の宿泊施設、飲食店を営む事業者が外国語版のホームページ、パンフレット等を新規に作成する場合の初期経費の一部（3分の2上限20万円）を補助（平成20年度～）、Wi-Fiスポット2か所整備 【観光ボランティアガイド】まちあるきをはじめとした観光案内の実施、まちあるきガイドの養成 ガイド登録者数：164名（延べ）※現在登録者数：28名（うち休会者5名）							
経過	【観光案内所整備運営事業】 平成28年度 日暮里観光案内所、南千住観光おもてなしサロン開設（南千住は、平成29年11月閉鎖） 【観光案内標識設置事業】 平成17年度 事業開始（観光案内標識設置事業から組み替え） 【観光ボランティアガイド事業】 平成18年度 養成講座の開始、ガイドの活動開始（観光情報提供事業として） 【外国人来訪者受入体制整備事業】 平成20年度 事業開始 平成26年度 要綱を一部改正（対象事業を飲食店にも拡充） 平成27年度 要綱を一部改正（宿泊施設・飲食店ともに対象事業を拡充） 平成29年度 日本文化体験イベント（日本舞踊体験、商店街ツアー）開始（令和2年度に事業終了） 令和5年度 訪日外国人向け観光WEBサイト運用開始							
必要性	多言語案内や標識等の整備を進めることで、外国人をはじめとした観光客に荒川区の観光における満足度を高め、リピーターとしての来訪者の増加が期待できる。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	日暮里観光案内所等利用者数(人)	18,127	33,200	49,500	49,800	50,000	年度実績数 4年度はコロナ禍で減少
	②	観光ボランティアガイドの活動(回)	3	11	13	15	35	公募及び依頼型での活動数 4年度はコロナ禍で減少
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
7年度		8年度						
重点的に推進		観光案内所におけるきめ細かな観光案内をはじめ、観光案内標識の整備、観光ボランティアガイドの養成など、来訪者の受入環境の整備を重点的に推進する。						

No2 (単位：千円)								
予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		11,896	7,128	6,950	6,842	14,558	8,942	11,146
決算額（7年度は見込み）		9,800	3,021	3,854	4,831	12,478	6,575	11,146
実績の推移	事項名（7年度は見込み）	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	観光案内標識設置	—	—	—	—	—	—	—
	観光案内標識内容更新・修正	1	5	5	5	4	5	5
	外国語版HP作成支援	0	0	0	0	0	0	1
	観光ボランティアガイドの活動（回）	21	0	0	3	11	13	15
予算・決算の内訳								
令和5年度（決算）			令和6年度（決算）			令和7年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	観光案内所スタッフ謝礼ほか	3,067	報償費	観光案内所スタッフ謝礼ほか	3,208	報償費	観光案内所スタッフ謝礼ほか	4,578
需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	118	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	136	需用費	案内所整備用消耗品・ガイド用消耗品ほか	199
役務費	公衆Wi-Fi・案内所通信費・ガイド保険料ほか	581	役務費	公衆Wi-Fi・案内所通信費・ガイド保険料ほか	581	役務費	公衆Wi-Fi・案内所通信費・ガイド交通費・保険料ほか	608
委託料	訪日外国人向け観光WEB作成委託ほか	8,219	委託料	訪日外国人向け観光WEB作成委託ほか	1,885	委託料	訪日外国人向け観光WEB作成委託ほか	4,796
使用料等	案内所賃料	493	使用料等	案内所賃料	765	使用料等	案内所賃料	765
						負担金補助等	外国人来訪者受入整備補助金	200

(単位：千円)								
行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
	給与関係費	8,698	11,356	2,658	地方税等	0	0	0
	物件費	6,041	3,354	▲ 2,687	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	1,809	391	▲ 1,418
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3,083	3,221	138	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	419	419	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,809	391	▲ 1,418
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,840	787	▲ 1,053	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 17,853	▲ 18,746	▲ 893
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	19,662	19,137	▲ 525	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 17,853	▲ 18,746	▲ 893
	特別費用(g)	323	0	▲ 323	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 323	0	323	当期収支差額(e)+(h)	▲ 18,176	▲ 18,746	▲ 570
	行政費用では、物件費の主な内訳は、訪日外国人向け観光WEBサイト用特集記事作成業務委託や観光案内所標識地図盤面修正委託等であり、補助費等の主な内訳は、観光案内所スタッフへの謝礼である。減価償却費の増は、日暮里観光案内所を改装したことが要因である。							
	日暮里観光案内所外国人利用者数が大きく増加している。多種多様な質問答えられるよう、旅行者のニーズに寄り添った、一層きめ細やかなサービスが必要である。							

問題点・課題の改善策			
	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	インパウンドに対応するため、スタッフを一部委託化することにより、繁忙期は2名体制での運営を行う。	案内所スタッフの一部委託化により、土休日等の繁忙期のスタッフを複数体制にしたことで、案内所を安定的に運営することができた。	インパウンドに対応するため、案内所における過去のデータ等を検証し、適切な受入体制をとる。
②	Webサイトの充実を図り、魅力的な観光PRを行うことで、来訪を促す。	外国人向け特集記事を作成・掲載するなど、訪日外国人向け観光WEBサイトを充実させることで区のPRにつなげることができた。	訪日外国人向け観光WEBサイトの新規コンテンツの作成を行うことで、サイトの充実化を目指す。
③			
他区の実況	（実施 15 区 未実施 0 区 不明 7 区） 観光案内所標識…台東区、豊島区、中央区、葛飾区、千代田区、足立区他		
議（要質問状）	平成28年度決特 区内の日本語学校生徒の通訳ボランティアとしての活用について 平成28年度決特 日暮里活性化施設を活用した区内への誘客について 令和4年度決特 フィルムコミッションの状況について 令和4年度観光文化 観光協会の設立について 令和6年度11月会議 インパウンドの取込みと、近隣区との連携について		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-09		戦略プラン	☐ 協働	☐ 業務	☐ 財務	☐ 人事
事務事業名	俳句活用事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	渡部	
			担当者名	仁平	内線	461	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-05-01	俳句活用事業					
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 7年度 ☐ 6年度） ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業						
開始年度	平成 27	（ 2015 ）	年度	根拠			
終期設定	☒ 有 ☐ 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等		
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準			計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	荒川区俳句のまち宣言に基づき、俳句のまちであることを区内外に向け広くPRする各種事業を実施することで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。						
対象者等	・区民、区外の人々及び来訪者 ・奥の細道サミット参加自治体						
内容	俳句及び奥の細道に所縁の深い区として、「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地千住あらかわ」を広く内外へPRし、区外からの誘客を促進するとともに、地域の賑わいを創出する。 [令和5年度関連事業(イベント関連)] ①千住まちあるきツアー（令和5年5月28日、募集40名、応募167名、参加32名※8名欠席） ②フォト俳句コンテスト(募集期間 令和5年10月1日～令和6年1月12日 応募作品数764句) ③都電DE俳句(令和5年11月29日、募集15名、応募45名、参加13名※2名欠席) [令和6年度関連事業(イベント関連)] ①千住まちあるきツアー（令和6年5月19日、募集40名、応募242名、参加27名※13名欠席） ②フォト俳句コンテスト(募集期間 令和6年10月1日～令和7年1月10日 応募作品数958句) ③都電DE俳句(令和6年11月29日、募集15名、応募58名、参加11名※3名欠席・1名体調不良で途中解散)						
経過	荒川区は奥の細道所縁の自治体・団体が加入している「奥の細道サミット」に平成19年度から参加しており、平成27年3月14日に「奥の細道千住あらかわサミット」を開催した。また、サミット同日には、「荒川区俳句のまち宣言」を発表し、以降様々な俳句文化の振興に取り組んでいる。 [サミット開催状況] H29年度 富山県高岡市 H30年度 山形県大石田町 R1年度 石川県金沢市 R22年度 東京都江東区 R3年度 岩手県平泉町・一関市 R4年度 埼玉県草加市 R5年度 宮城県多賀城市 R6年度 岐阜県大垣市 R7年度 福島県白河市（予定） [近年実施した主なイベント] R4年度 都電DE俳句、フォト俳句コンテスト、関連自治体への出店(大垣市) R5年度 千住まちあるきツアー、都電DE俳句、フォト俳句コンテスト、関連自治体への出店(大垣市) R6年度 千住まちあるきツアー、都電DE俳句、フォト俳句コンテスト、関連自治体への出店(大垣市)						
必要性	「俳句のまちあらかわ」及び「奥の細道矢立初めの地千住あらかわ」を継続してPRしていくことで、区内への誘客及び地域の活性化の双方において、大きな効果が期待できる。						
実施方法	（ 2—部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ）						
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			4年度	5年度	6年度	7年度 見込み	
	① 俳句関連イベント参加者満足度(%)	93.3	97.8	94.7	94.0	95.0	千住まちあるきツアー、都電DE俳句参加者満足度
	②						
③							
事務事業の分類			分類についての説明・意見等				
7年度	8年度						
推進	継続	区の観光振興施策における俳句活用事業のあり方について、検討する。					

(単位：千円)

供	行政費用としては、給与関係費を除くと物件費が主であり、俳句イベント運営委託費が多くを占めている。
---	--

問題点・課題の改善策

問題点・課題の改善案			
	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続き、庁内関係部署や関連団体と密に連携を図り、事業を展開する。	まちあるきではボランティアガイドと、都電DE俳句ではあらかわ遊園と連携し、事業を展開した。	引き続き、庁内関係所管や関連団体と連携を密に図り、事業を展開する。
②	引き続き、既存の観光資源やイベントに俳句を絡め、効果的な区外から誘客を図る。	フォト俳句コンテストでは課題写真を増やすことで、観光スポットの紹介の充実を図った。	フォト俳句では、前年度作品の紹介・解説を行うパネル展示と講演会を実施することで、応募作品を増やす。
③			
他区の実況	(実施 2 区 未実施 20 区 不明 0 区)		
	「奥の細道サミット」加入団体は、23区では当区のほか、江東区、足立区の2区。		
議会質問状況 (要旨)	平成25年1定 「奥の細道旅立ちの地」という重要な地域資源を活かした観光振興を推進すべき 平成28年度2月会議 「俳句のまちあらかわ」を区内外に広く周知するための取組みを実施すべき 平成28年度予特 新たに建立する句碑を他の俳句関連スポットとともに観光資源として活用すべき		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-10		戦略プラン	☒ 協働 ☐ 業務 ☐ 財務 ☐ 人事			
事務事業名	あらかわの伝統野菜PR事業		部課名	産業経済部観光振興課		課長名	渡部
			担当者名	鈴木		内線	462
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-01-03	あらかわの伝統野菜PR事業					
事務事業の種類	☐ 新規事業（ ☐ 7年度 ☐ 6年度） ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業						
開始年度	平成 24	（ 2012 ）	年度	根拠			
終期設定	☒ 有 ☐ 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等		
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準			計画区分	☐ 計画 ☒ 非計画		
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	地域の活性化や区民の郷土愛の向上を目指して、かつて江戸時代に荒川区で生産されていた三河島菜など荒川区の地名を冠した野菜を復活させる取り組みを行い、江戸東京野菜として区内外に広くPRを行う。						
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者、区内協力店舗等						
内容	①都立農産高校との連携（平成24年度～） - 平成24年、園芸部にて三河島菜と汐入大根の試験栽培を開始（汐入大根は不作）、翌年より授業として三河島菜を栽培 - 生徒が「にっぽりマルシェ」にて、三河島菜を販売、三河島菜の研究成果を「にっぽりマルシェ」にてブース展示、来場者に説明（平成27年度～令和元年度） - 生徒が「日暮里道灌まつり」にて、三河島菜を販売、三河島菜の研究成果をブース展示、来場者に説明（令和4年度～） ②区役所内レストランさくらでの三河島菜フェアの開催（平成25年度～） - 三河島菜を使用したメニューを日替わりで一週間提供 ③三河島菜イメージキャラクターの作成及びPRグッズの作成（平成26年度～） - クリアファイル、トートバッグ、アームバッグ、紙ナフキン						
経過	【平成18年度】荒川ふるさと文化館にて「あらかわのお野菜 都市とお野菜」を開催。荒川区ゆかりの伝統野菜が現存しないか江戸東京・伝統野菜研究会の大竹道茂氏が調査をしたところ、「仙台芭蕉菜」が、その子孫種であることが判明。大竹氏が、小平市の農家へ種を持ち込み栽培 【平成23年度】JA東京中央会が「青茎三河島菜」として江戸東京野菜に選定 【平成25年度～令和元年度】都立農産高校の生徒が「にっぽりマルシェ」にて三河島菜を販売 【平成26年度～】区から都立農産高校へ感謝状贈呈（毎年3月） 【平成30年度】汐入水辺フェスタに参加し、三河島菜を育てるワークショップを開催 【令和4年度】荒川区観光振興功労者表彰を贈呈 【令和元年度、4～6年度】都立農産高校に講師を派遣し、勉強会を実施（令和6年度は、出席生徒数138名）						
必要性	- 新たな観光資源の創出には、更なる誘客の促進が不可欠である。 - 荒川区独自の文化を観光資源に活用することは、区の魅力をPRするために重要である。						
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ）						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 三河島菜フェア満足度(%)	—	—	97.7	98.8	100	三河島菜フェアのアンケート結果
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
継続	継続	伝統野菜である三河島菜の認知度を高め、区民の郷土愛の醸成や区の魅力向上を図る事業であるため、継続して実施する。					

予算・決算額等の推移			元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額			470	467	554	564	571	341	302
決算額（7年度は見込み）			284	13	17	37	37	286	302
実績 の 推 移	事項名（7年度は見込み）		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	三河島菜フェア提供食数（合計）		415	431	592	672	799	853	860
	三河島菜販売数（セット）		43	0	0	117	74	182	190
予算・決算の内訳									
令和5年度（決算）			令和6年度（決算）			令和7年度（予算）			
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	
報償費	勉強会講師謝礼	29	報償費	勉強会講師謝礼	29	報償費	勉強会講師謝礼	37	
需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品	4	需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品等	252	需用費	あらかわの伝統野菜PR用消耗品等	259	
役務費	感謝状筆耕	4	役務費	感謝状筆耕	5	役務費	感謝状筆耕	6	

(単位：千円)										
行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	2,269	1,975	▲ 294	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	9	257	248		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	29	29	0		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額	480	137	▲ 343	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,787	▲ 2,398	389	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	2,787	2,398	▲ 389	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,787	▲ 2,398	389	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,787	▲ 2,398	389		

備考	行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主であり、内訳は、三河鳥菜PRグッズの作成等であり、6年度はアームバッグを作成したため増加した。また、補助費等は三河鳥菜勉強会講師謝礼である。
----	---

問題点	・三河島菜が荒川の伝統野菜として区民に認知されつつあるものの、様々な団体と連携しながら今後も更なる情報発信を継続する必要がある。 ・野菜やその種に区民が直接触れる機会が少ないため、機会の創出を図っていく。
-----	---

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続き、「復活！あらかわの伝統野菜」だよりによる情報発信を行う。	「復活！あらかわの伝統野菜」だよりに今年度実施した三河島PRの取組を幅広く盛り込んだ。	「復活！あらかわの伝統野菜」だよりの既存版を「アーカイブ版」にまとめるなど、よりわかりやすい形で発信していく。
②	各所と連携し、三河島菜をPRする機会を設ける。	都立農産高校やJR三河島駅との連携に加えて、区内の小学校での三河島菜のPRを行った。	関係者との連携を継続し、三河島菜の更なるPRを図っていく。
③	引き続き、様々な団体と連携し、情報発信を継続していく。		
他区の実 施状況	(実施 0 区	未実施 22 区	不明 0 区)
議会 （要旨） 質問状	平成28年度予特 三河島菜の種をもっと広く一般の方が入手出来るようにしてはどうか。 平成28年度予特 尾久宮前小で育てている三河島菜の鉢植えを区役所に展示し、PRしてはどうか。		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-11		戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事			
事務事業名	太田道灌魅力発信事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名 渡部		
			担当者名	仁平	内線 461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-02-04	太田道灌魅力発信事業					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 7年度 ○ 6年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	平成 30（2018）年度	根拠					
終期設定	○ 有 ● 無（ ）年度	法令等					
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画 ● 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	日暮里地域には、勇壮な太田道灌の騎馬像や山吹の花一枝像、道灌山、道灌丘碑といった太田道灌に関する観光資源が点在している。太田道灌所縁の地であるということを観光資源とし、イベントやPR活動を行うことで、日暮里地域を活性化させ荒川区への来訪促進を図る。						
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者、区内外協力店舗等						
内容	1 日暮里道灌まつり 日暮里駅前イベント広場において、太田道灌に所縁のある自治体や店舗による出展のほか、ステージでの催し、パネル展示等を行う。 2 PR活動 ①区報、区ホームページ、区営掲示板、ケーブルテレビ、SNSでの紹介 ②観光パンフレットに掲載（おいでよ！あらかわ（区外向けパンフレット）、荒川区観光ボランティアガイドマップ、日暮里・舎人ライナー都電沿線まちあるきマップ）、区内各所でのパネル展示 ③グッズの作成 令和6年度：ウェットティッシュ1200個 ：ボールペン600個 ：PRバッグ1000枚						
経過	日暮里道灌まつり 【平成30年度】10月20日（土）、21日（日）午前10時から午後5時まで ※にっぽりマルシェと同時開催 【令和元年度】11月9日（土）午前10時から午後4時まで ※都市交流フェアと同時開催 【令和2年度】オンライン開催 区施設でのパネル展（本庁舎10/12～23、ゆいの森10/16～30、西日暮里ギャラリー10/28～11/11）、区HPでの出展団体及び特産品の紹介（11/1～30）を行った。 【令和3年度】オンライン開催 ふらっとにっぽりでのパネル展・区HPで関係自治体等の紹介（12/1～15）及び区YouTubeで落語「道灌」（三遊亭王楽氏 ※荒川区観光大使である三遊亭好楽氏の兄弟弟子）の放映を行った。 【令和4年度】11月12日（土）午前10時～午後3時 【令和5年度】11月11日（土）午前10時～午後3時 ※交流都市フェアは翌日開催 【令和6年度】11月23日（土・祝）午前10時～午後3時 ※交流都市フェアは翌日開催						
必要性	荒川区の歴史文化を観光資源として活用することにより、区の賑わいを創出し、地域経済の活性化するために必要である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○ 常勤職員 ○ 会計年度任用職員）						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 日暮里道灌まつり来場者満足度(%)	91.3	80.0	82.3	90.0	95.0	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度		8年度					
推進	推進	太田道灌ゆかりの地である荒川区の認知度を高め、区民の郷土愛の醸成と区の魅力向上を図るため、取組を推進する。					

(単位：千円)

問題点・課題

行政費用では、給与関係費を除くと、物件費が主であり、内訳は、日暮里道灌まつり会場設営・運営委託等である。

- ・太田道灌ゆかりの地であることを更にPRする方法を検討する必要がある。
- ・太田道灌の関連自治体と交流を深め、連携することにより、太田道灌の魅力を発信する機会を増やしていく必要がある。

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	伊勢原甲冑隊や紙芝居等のステージショーを行い、太田道灌の魅力を発信する。	ステージショーでの新たな寸劇・殺陣の上演や、区内施設でのパネル展を行うなど、道灌の魅力を積極的に発信した。	まつりの実施に加え、区内施設で太田道灌の魅力を伝える紙芝居を上演するなど、道灌の魅力を発信する。
②			
③			
他区の実況	(実施 0 区	未実施 22 区	不明 0 区)
議会質問状(要旨)	平成29年度11月会議 太田道灌をテーマとし、ゆかりのある自治体等と連携したイベントを開催するなど、新たな誘客策に取り組むべき 平成29年度予特 太田道灌を軸とした交流を作り出し、関わりのある自治体と広く連携を進めるべき 令和4年度観光文化 太田道灌を活用した観光施策を行い、大河ドラマを誘致すべき		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-12		戦略プラン	☒ 協働 ☐ 業務 ☐ 財務 ☐ 人事				
事務事業名	観光振興功労者表彰事業		部課名	産業経済部観光振興課	課長名	渡部		
			担当者名	仁平	内線	461		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-06-01	観光振興功労者表彰事業						
事務事業の種類	☐ 新規事業 （ ☐ 7年度 ☐ 6年度 ） ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業							
開始年度	令和 3	（ 2021 ）	年度	根拠	荒川区観光振興功労者表彰実施要綱			
終期設定	☒ 有	☐ 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等		
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準			計画区分	☐ 計画 ☒ 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成					
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出					
目的	区の観光振興に功績のあった団体や個人等の功績を広く周知することにより、区の観光振興につなげていくことを目的とする。							
対象者等	区の観光振興に功績のあった個人、団体							
内容	1 表彰基準 区の観光振興に貢献しており、以下のいずれかに該当していることとする。 （1）区の区域内において継続的に観光振興事業を実施し、又は観光振興事業に協力し、区の観光イメージの向上に貢献していること。 （2）区の観光資源の魅力向上又は発信をし、区の観光イメージの向上に貢献していること。 （3）新たな区の観光資源の創出に貢献していること。 （4）その他、区の観光振興及び地域振興への貢献が特に顕著であること。 2 表彰の方法 被表彰者に賞状及び記念品の授与を行う。 3 選考方法 外部委員を加えた選考委員会において、表彰基準に該当し、区が推薦する者について諮問し、選考委員会からの答申を参考に、被表彰者を決定する。							
経過	＜歴代受賞者＞ R3年度 杉山 六郎（南千住コソ通り商店会会長、荒川区商店街連合会副会長） R4年度 東京都立農産高等学校 R5年度 該当なし R6年度 荒川区観光ボランティアガイドの会							
必要性	区の観光振興に功績のあった個人や団体等の功績を表彰することで、区民等の観光振興への取組に対する意欲の向上が期待できる。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 ☒ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ）							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値（8年度）	
	① 被表彰者数（人・団体）	1	0	1	0	0		
	②							
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
7年度	8年度							
継続	継続	区の観光振興施策における観光振興功労者表彰事業のあり方について、検討する。						

(単位：千円)

備

問題点・課題

区の観光振興に功績のあった個人や団体を、適切に選考する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む 具体的な改善内容	令和6年度に実施した 改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続き、表彰候補者の選考にあたっては、適格な人選に努める。	長く功績のある団体を表彰した。	適切な選考を行う。
②			
③			
他区の状況	(実施 0 区	未実施 22 区	不明 0 区)
議会(要旨)質問状況			

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	06-04-14		戦略プラン	☐ 協働	☐ 業務	☐ 財務	☐ 人事
事務事業名	日暮里駅前イベント広場活用事業	部課名	産業経済部観光振興課		課長名	渡部	
		担当者名	加茂		内線	3563	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-02-05	日暮里駅前イベント広場活用事業					
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 7年度 ☒ 6年度） ☐ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業						
開始年度	令和 6	（ 2024 ）	年度	根拠			
終期設定	☒ 有 ☐ 無	令和 11	（ 2029 ）	年度	法令等		
実施基準	☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準		計画区分	☐ 計画 ☒ 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	06	人が集う魅力あるまちの形成				
	施策	01	観光資源の発掘とにぎわいの創出				
目的	区の観光資源である日暮里駅前イベント広場を活用し、日暮里地域への誘客を促進し、多くの来訪者が日暮里地域の魅力に触れる機会を創出する。						
対象者等	区民、区外の人々及び来訪者						
内容	日暮里駅前イベント広場を活用したイベントを通じ、日暮里地域の賑わいを創出することを目的に、各種イベントを実施する。 【令和6年度】 1 にっぽりトレインフェス（新規） 7月14日（日）・15日（月・祝）10時～17時開催 鉄道事業者5社、鉄道関連グッズ販売1社、飲食販売1社、日暮里繊維街関連2社 2 にっぽり推し活応援フェス（新規）10月25日（金）・26日（土）10時～16時開催 推し活関連事業者4社、飲食販売1社、日暮里繊維街関連4社 【令和7年度】 1 にっぽりトレインフェス 9月6日（土）10時～16時開催予定 2 （仮称）日暮里繊維街PRイベント 12月12日（金）・13日（土）開催予定						
経過	これまで日暮里駅前イベント広場では、地元商店会によるイベントが月に4～10日程度開催されるなど積極的に活用され、日暮里地域の賑わいの創出に大きな効果を発揮していた。 しかし、商店会の解散や新型コロナウイルス感染症の影響等により、同広場の活用頻度が著しく減少し、現在は区直営の事業や、地元町会によるイベントが月に1日程度開催されるにとどまっていた。 令和6年度から、日暮里駅前イベント広場の賑わいを取り戻すため、新たな観光振興施策として、日暮里地域活性化事業連携に関する協定書に基づき、日暮里地域の賑わいの創出に資するイベントを実施している。						
必要性	成田空港に直結する日暮里駅前にあるという特性を活かし、観光イベントを開催することで賑わいを創出し、地域経済の活性化を図るために必要である。						
実施方法	（ 3委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ）						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① イベント参加者満足度(%)	-	-	82.1	88.6	95.0	
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
重点的に推進	重点的に推進	区内外からの誘客を図り、多くの来訪者が日暮里地域の魅力に触れる機会を創出する取組を重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額						—	3,826	8,459
決算額（7年度は見込み）						—	3,825	8,459
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実績の推移	事項名（7年度は見込み）							
	日暮里駅前イベント来場者満足度						82	90
予算・決算の内訳								
令和5年度（決算）			令和6年度（決算）			令和7年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
			委託料	イベント業務委託	3,825	委託料	イベント業務委託	8,459

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			5年度	6年度	差額	勘定科目			5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	2,469	2,469	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	0	3,825	3,825		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	0	0	0		都支出金	0	1,693	1,693		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0		
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	0	1,693	1,693		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	171	171		行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲ 4,772	▲ 4,772		
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0		
		行政費用合計(b)	0	6,465	6,465		通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲ 4,772	▲ 4,772		
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲ 4,772	▲ 4,772				

備考 行政費用では、給与関係費を除くと物件費が主であり、内訳は、各事業の企画・運営・広報等の委託料である。6年度の都支出金については、にっぽりトレインフェス及び推し活応援フェスにかかる単年度補助である。

問題点・課題

- ・日暮里地域の魅力を効果的にPRする方法を検討する必要がある。
- ・日暮里駅前イベント広場から日暮里繊維街へ誘客を促進するイベントを実施する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	誘客に効果的なイベント内容について、検討する。	イベント毎に異なるターゲットの属性に合わせ、広報活動を展開した。	新規に開設したInstagram等を活用し、効果的な事業周知を図る。
②	日暮里繊維街との連携のもと、地域の活性化に繋げられるイベントを実施する。	日暮里繊維街と連携し、イベント関連マップの作成等の工夫により誘客に繋げることができた。	引き続き、日暮里繊維街と連携し、地域活性化に繋がるイベントを実施する。
③	関係者と調整を図り、出展しやすい環境を整備する。	関係部署と調整し荷物置場を手配する等、出展者が使いやすい環境を整備した。	引き続き、出展者しやすい環境整備に努める。
他区の実況	(実施 0 区)	未実施 22 区	不明 0 区)
議(要質問状			